

～天王洲地区の今昔～

地名の由来について…

品川浦周辺の海中から引き揚げられたお面が、南品川の天王祭の神輿の屋根に付ける神聖なお面と考えられたため、これが天王洲の地名の由来とされています。



昭和33年当時の様子

平成時代初期には、モノレールの開通や大型商業施設の開業により、利便性の高い近代的な地域として発展しました。現在では、オフィスビルやタワーマンションが立ち並び、美しい水辺を生かした観光スポットやアートギャラリーがあり、賑わいのある地域となっています。

天王洲地区は当初、江戸幕府による第四台場の築造予定地に選ばれた洲（海中の土砂が堆積してできた土地）でした。その後、昭和時代初期に埋め立てが始まり、完成後は工場や倉庫など、戦後の復興資材の集積地として利用されました。



令和4年現在の様子

引用元：品川区「品川の歴史シリーズ・地名編」
品川区「天王洲地区景観まちづくりルールアイデアブック」

～新会長のご紹介～



天王洲会 会長
森田 正志 さん

天王洲会は、天王洲アイルに拠点のある企業21社を中心として組織されている町会です。

天王洲エリアは開発から約30年が過ぎ、新たに街づくりの活性化に取り組んでいます。10月には、旧東品川清掃作業所が「アイルしながわ」というスポーツイベント施設に生まれ変わりました。

また、天王洲エリアはアートの街・水辺の街をテーマにアート作品を展示し、フェス等のイベントを定期的で開催することで多数の方が訪れていただくようになりました。

地域の一員として、関係各所にご協力を頂きながら、防災・防犯・活性化意識を高めて参りますのでどうぞよろしくお願いたします。

イベント・ルポ

令和4年10月8日（土）から10月10日（月・祝）までの3日間開催された「しながわ水辺の観光フェスタ2022」の様子をお届けします！



しながわ水辺の観光フェスタ2022

1日目 10/8(土)

2日目 10/9(日)

3日目 10/10(月・祝)

秋の運河花火まつり（花火）



夜空を彩る花火

1日目の夜には、天王洲運河から約8千発の花火が打ち上げられ、会場で拍手が巻き起こりました。

秋の運河花火まつり（屋台など）



屋台や体験コーナー

東品川水上公園内には、屋台や体験コーナーなどが多く並び、会場内は活気に満ち溢れていました。

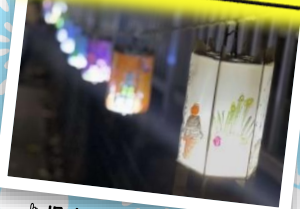
「アイルしながわ」オープン



「アイルしながわ」

天王洲アイルには、文化やスポーツを起点としたまちの賑わいを創出する場所として「アイルしながわ」が誕生しました。

灯笼（とうろう）ロード



児童が作成した灯笼

黒川の沿道には、城南第二小学校と台場小学校の児童が作成した灯笼が並べられ、幻想的な空間が広がっていました。

東海道しながわ橋テラス



カフェやマルシェ

旧東海道品川宿の品川橋では、カフェやマルシェが開催され、散歩中の親子連れや夫婦など多くの人で賑わっていました。

オープニングセレモニーでは、「アイルしながわ」のグラウンドオープンを記念し、テープカットが行われました。

オープニングセレモニー



セレモニーの様子